






# FOLFIRI療法

## のスケジュール

お薬の名前	スケジュール			
	1日目	2日目	3日目	4～14日
レボホリナート		お休み		
イリノテカン				
5-FU（急速静注）				
5-FU（持続静注）		46時間で終了		

- ・1～14日を1回の治療として、繰り返し治療をおこないます。
- ・症状や経過に合わせて、治療スケジュールは変わる可能性があります。

### ●当日のスケジュール

順番	お薬の名前	投与の目的		点滴時間（目安）
①	生理食塩液	血管ルート確保		-
②	デキサート注 グラニセトロン点滴バッグ	吐き気予防		15分
③	レボホリナート 5%ブドウ糖液	5-FUの効果を高める		120分 ③④同時
④	イリノテカン 5%ブドウ糖液	抗がん剤		
⑤	5-FU（急速静注） 生理食塩液	抗がん剤		2～3分
⑥	5-FU（持続静注） 生理食塩液	抗がん剤		46時間(インフューザーポンプを使用)

- ・点滴時間は約2時間30分です。その後ポンプでの投与が46時間かかります。
- ・点滴当日に採血を行い、白血球などの検査値をチェックします。
- ・1回の治療にかかる薬品費は3割負担で約1万円です。

## ◎ 起こりやすい副作用について

### ○ 食欲不振・吐き気・嘔吐

個人差の多い副作用です。抗がん剤での治療中から起こる事があり、1週間ほど続く場合があります。症状と時期に合わせて、吐き気止めのお薬を使い対応していきます。

### ○ 疲労感・全身倦怠感

全身がだるくなったり、力の抜けたような感じになることがあります。

### ○ 下痢

1日3回以上の排便回数の増加や水様便が出る場合があります。症状が続く場合は、脱水症状を防ぐため十分な水分補給を心がけてください。下痢を予防するお薬が処方される場合もあります。

### ○ 白血球減少

抗がん剤を投与後してから10～14日頃に白血球数が最も減少すると言われています。白血球が少なくなると、病原菌に対する体の抵抗力が弱くなり、かぜをひきやすくなったり、口内炎ができたりします。かぜ予防のため手洗い・うがいを心がけましょう。

### ○ 赤血球減少

赤血球の数が少なくなるとだるさや疲れやすさ、めまい、少し動いただけで息切れがする、脈拍が増える、動悸がするなどの貧血症状が現れることがあります。

### ○ 血小板減少

出血を止める作用がある血小板が極端に少なくなると、内出血、鼻血、歯磨きによる口の中の出血などの症状が起こることがあります。

## ● その他の副作用について

- 注射部位反応（発赤，痛み），血管炎，血管痛
- 腹痛
- せき
- 脱毛
- 粘膜の炎症・口内炎
- 色素沈着
- 爪の異常

これら以外の副作用があらわれる場合もありますので、気になる症状があらわれた際には必ず医師、看護師または薬剤師にご相談ください。

